

Title	当所の活動
Author(s)	
Citation	木材研究資料 (1973), 7: 108-109
Issue Date	1973-03-31
URL	http://hdl.handle.net/2433/51288
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

当 所 の 活 動

(1972年2月～1973年1月)

講 演

(木材物理部門)

第22回日本木材学会大会

(昭和47年4月6日～8日, 東京)

伏木 秀文, 島田 幹夫, 樋口隆昌: 針・広葉樹組織によるシナピルアルコールおよびシナップ酸の代謝

棚橋 光彦, 樋口 隆昌, 中坪 文明: グアヤシルグリセロール- α , β -ジアリルエーテルのアシドリシス

山崎 徹, 幡 克美, 樋口 隆昌: *p*-クマールアルコールの酵素的脱水素重合物の化学的性質
島田 幹夫, 伏木 秀文, 樋口 隆昌: 針葉樹リグニンのメトキシル基生成に關与する *O*-メチル基転移酵素 (リグニン化学部門)

金田 弘, 満久 崇磨: 木質材料の耐候性に関する研究, 表層の劣化および接着性の低下に関する研究 (木質材料部門)

前川 英一, 北尾弘一郎: いちょうの種皮から水溶性ガラクトグルコマンナンの単離

池田 俊弥, 北尾弘一郎: *Dipterocarpus gracilis* のテルペン物質について

榎 章郎, 北尾弘一郎: 樹脂酸の光酸化について (木材化学部門)

野村 隆哉, 山田 正: 竹の生長過程における物性

大釜 敏正, 山田 正: 木材の高次構造と粘弾性 (第3報)

則元 京, 山田 正: 木材の誘電特性(第7報) 木材およびセルロースの結晶化度と誘電特性

角谷 和男, 長谷川庸作, 山田 正: マツ苗条の粘弾性 (第2報)

長谷川庸作, 角谷 和男, 山田 正: マツ苗条の粘弾性 (第3報)

森 光正, 山田 正: 応力緩和の荷重依存性

佐々木 徹, 山田 正: 湿潤木材の引張応力緩和異方性

青木 務, 山田 正: 楽器用材の2, 3の物性

高橋 旨象: 軟腐朽菌 *Chaetomium globosum* に対する針葉樹の耐久性について

伊東 隆夫: ワタの繊維膜形成に関する電子顕微鏡学的研究 (木材生物部門)

第23回木研公開講演会 (昭和47年5月19日, 大阪)

佐々木 徹: 木材の収縮・膨潤応力について (木材物理部門)

角谷 和男: 外力下での木材の形成について (木材物理部門)

樋口 隆昌: 広葉樹リグニンの化学 (リグニン化学部門)

第24回木研公開講演会 (昭和47年10月20日, 宇治)

山田 正: 木材一樹幹の材料設計 (木材物理部門)

前川 英一: いちょうの種皮に分布するヘミセルロースについて (木材化学部門)

中坪 文明: リグニンモノマーの脱水素重合 (リグニン化学部門)

伊東 隆夫: 木材細胞膜の形成に関する組織学的研究 (木材生物部門)

金田 弘: 木質材料の耐候性 (木質材料部門)

長谷川庸作: 樹木形成時の力学現象 (木材物理部門)

第13回日本植物生理学会

(昭和47年4月6～8日, 宇治)

島田 幹夫, 伏木 秀文, 樋口 隆昌: 広葉樹および針葉樹リグニンの生合成における鍵酵素としての *O*-メチル基転移酵素 (リグニン化学部門)

木材研究会 (昭和47年6月22日, 京都)

島田 幹夫: リグニン生合成における針葉樹と広葉樹の相違について (リグニン化学部門)

日本木材学会レオロジー研究会シンポジウム

(昭和47年10月3日, 名古屋)

角谷 和男: 木材の形成と力学的挙動 (木材物理部門)

植物化学シンポジウム (昭和48年1月20日, 東京)

島田 幹夫, 樋口 隆昌: 針葉樹および広葉樹リグニンの生合成における *O*-メチルトランスフェ

ラーゼの役割

(リグニン化学部門)

その他

その他

西本 孝一：欧米留学視察談（昭和47年12月14日，
大阪なにわ会館）（日本しろあり対策協会主催）
（木材生物部門）

3月22日～23日，Prairie Regional Laboratory, N.
R. C. Canada の Dr. Oluf C. Gamborg がリ
グニン生化学研究の動向を視察のため来所し
た。